



北斗

(同窓会会報)

No.36

令和2年3月31日発行

編集・発行

北斗会 (旧富山商船同窓会)

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 〒00720-1-2631 (ホクトカイ)

[同窓会HP] <https://www.toyama-hokutokai.net/>



写真上 立山連峰と若潮丸
下 商船学科サバイバル実習

CONTENTS

2 同窓会長挨拶

同窓会の現状と今後の要望

3 定期総会

4 平成30年度 決算報告／令和元年度 予算案

5 北斗祭のご案内／学内人事／新入会員名簿

6 支部会だより

8 かたふりコーナー 同期会

10 学内トピックス

校内カッターレース大会／全国商船高等専門学校漕艇大会

11 同窓会HP情報

12 お知らせ

不審な名簿業者からの連絡にご注意ください

令和2年度 総会・懇親会のお知らせ

編集後記

同窓会長挨拶

北斗会会長 永守 徹 (N63)



同窓会会員の皆様におかれましては日頃より活動支援をいただき、ありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

今年は、降り、積る雪もなく、暖冬で穏やかな冬を過ごしておられたことと思いますがここにきて「新型コロナウイルス」による肺炎が猛威を振るい、夏に開催される東京オリンピック・パラリンピックにも影響を及ぼすのではないかとの憶測も出だす大変な状況になっております。

しかしながら日本の持つ医療技術は世界に類も見ないくらい進んでおりきっと近い将来には収束宣言が出されると確信しております。

さて、今年4月には全日本船舶職員協会創立90周年記念事業が東京で開催されることになっております。本校卒業生の土屋正徳氏が専務理事を務めておられ、すでに実行委員会も複数回開かれ万全を期しておられ

るのでさぞや素晴らしい記念式・祝賀会になるものと期待しております。同窓生諸兄におかれましては時間が許せば是非ご参加下さい。

また、新しく発足した富山高専同窓会の運営も稻積佐門会長(射水キャンパス卒業生)のもとスムーズに展開しております。我々としては同窓会運営の先人としてどう関わってアドバイス、サポートしていくかを考えていくべきかと思っています。

皆様方のさらなるご支援、ご尽力をお願い申し上げます。

末筆になりますが皆様方の事業の隆盛とご自身・ご家族のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

| 統合高専同窓会(富山高等専門学校同窓会)の設立について

富山高等専門学校は平成21年10月に富山商船高等専門学校(4学科)と富山工業高等専門学校(4学科)が統合再編され、6学科校として設置されました。それまではそれぞれの学校の同窓会(北斗会・ほんごう会)が同窓会活動を行っていましたが、統合後10年を迎えた令和元年に統合後の卒業生が主体となった「富山高等専門学校同窓会」が発足し、10月19日に設立総会・理事会が開催されました。理事には北斗会・ほんごう会の理事も参画しており、北斗会・ほんごう会と連携して活動していくことになりました。これにより今後は、本校を卒業した学生は射水キャンパス、本郷キャンパスの区別なく富山高専同窓会に入会することになり、令和2年度から入学する学生の同窓会終身会費は富山高専同窓会が徴収することになりました。初代の会長は本校情報工学科卒業の稻積佐門氏(I17)が就任しました。富山高専同窓会HP(<https://nc-toyama-dousoukai.jp/>)に会長挨拶、ならびに会則などが掲載されていますのでご覧ください。

新同窓会は発足して半年足らずであり、まだ大きな活動は行っていませんが、概ねこれまで北斗会が担ってきた活動を継承していく予定です。特に学校・後援会(PTA)・協賛企業(技術振興会)と連携した活動により、本校の活性化に協力していきたいと考えています。これま

での理事会での検討では、会報については紙ベースでの発行はせず、Webによる情報の発信を計画しています。今後北斗会の会員の皆さんにもご覧頂けますよう、HPのコンテンツの充実を図ります。同窓会名簿はこれまで個人情報保護の観点から、会員名簿(冊子)の頒布は行っていません。一方、同窓会の大きな役割の一つに卒業後の会員の消息の把握と会員の交流支援があります。卒業生相互ならびに同窓会・学校間の連絡が取れるよう、名簿の更新と管理の体制を構築したいと考えています。

北斗会の皆様におかれましては、今後とも富山高専同窓会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。(E35 水谷淳之介 記)

令和元年度 富山高専同窓会理事

役職	氏名	学科	期	卒業年
会長	稻積 佐門	I17	H21	
事務局長	七軒 彩香	K17	H29	
会計監事	河村 弘毅	E48	H28	
会計監事	山崎 裕也	S26	H30	
理事	小西 明奇	I26	H30	
	山崎 大夢	S25	H29	
	畠 智貴	E47	H27	
	井波 沙依	K15	H27	
	赤濱 七菜	K15	H27	
	岩崎 裕太	C47	H27	
	小川 紗貴	S22	H26	
	中島 栄次	C24	H4	
	水谷淳之介	E機関35	S53	
	打出 孝彦	C10	S53	
	玉川 宏	E機関32	S50	
	長浜 啓一	M5	S48	



設立総会で挨拶する稻積左門会長 (I17)
(令和元年10月19日)



本校学長と同窓会理事との懇談会
(令和2年1月15日)

I: (電子)情報、K: 国際ビジネス(流通)、S: 航空、E: 機関: 機関
M: 機械(システム)、E: 電気(制御)、C: 物質(化学)

定期総会

令和元年6月1日(土)、北斗会理事会が富山電気ビルレストランで開催されました。
会務報告、決算報告、監査報告がなされ承認をいただきました。
決議事項、報告事項は以下の通りです。

日時 令和元年6月1日 14:00~

場所 富山電気ビルレストラン

議案

議事1. 平成30年度 活動報告 (E30 佐々木 正) 承認

議事2. 平成30年度 会計報告 (E35 水谷淳之介) 承認

議事3. 平成30年度 監査報告 (E24 石井 秋吉) 承認

議事4. 令和1年度 活動予定 (E30 佐々木 正) 承認

議事5. 令和1年度 予算案 (E35 水谷淳之介) 承認

議事6. 本部、支部提出議案

1. 役員人事 承認

支部長

富山支部

N63 永守 敬 → E32 玉川 宏

北海道支部

E24 川田 秀史 → E36 佐々木義隆

新潟支部

E28 古川 隆 → N63 小坂 徳夫

理事

富山支部 (新任)

NE27 小川 沙貴、I21 稲積 左門

*他支部の理事人事に関しては後日本部に連絡する。

監査

E24 石井 秋吉 → N63 田近 茂樹

2. 臨時支部長会議に関する内容及び結果報告
(N30 永守 敬)

3. 新同窓会名簿に関する報告 (E30 佐々木 正)

・今年度の「会報」未届き者と総会案内ハガキの住所変更者の確認・変更作業を終了したのち、7月末までには各支部に配布する予定。

・住所録は、紙ベースのものと、電子データのものを配布する。

・同窓生の支部割りは本部に一任する。(承認)

・名簿の管理は支部長責任で厳格に行うものとする。特に名簿管理会社等の利用には慎重に対応する。(確認、承認)

4. ホームページとバナー広告に関する報告
(D16 高崎 雅志)

・ホームページの閲覧方法を変更して、スマートフォンからもアクセスできるようにした。
・バナー広告の掲載、申し込み方法及び料金等の説明(承認)

5. 東北支部からの報告事項 (富山)

・今年度に青森・岩手県人会を立ち上げ、東北支部は「両羽会」(秋田・山形県人会)、「青岩会」(青森・岩手県人会)の活動にも関わった活動を進める。

協議事項

1 「新富山高専同窓会」(仮称)と北斗会の今後の動向と関係について。

・水谷副校長が学校側提案の構想内容を説明。(臨時支部長会議内容とほぼ同様)

・「新富山高専同窓会」(仮称)の本格的運営開始時期は不明だが、近年中には確実に運営する予定である。

・「新富山高専同窓会」(仮称)本格的運営後の「北斗会」の収入源は確実に縮小するので、寄付金やバナー広告等による独自の収入源確保に努力する。

・「新富山高専同窓会」(仮称)の発足に関係なく、「北斗会」の運営はこれまで通りの内容を維持することを確認。

2 令和2年度の総会開催日

・日時：令和2年6月6日(土) 14:00~

・場所：富山電気ビルレストラン



支部会だより

東北支部

令和1年度東北支部総会

開催日時 令和2年1月19日(土)

午後4時30分～

開催場所 仙台「力寿司」東口本店

出席者(出席理事) 16名

出席者氏名

高橋 茂、田原口 孝、櫻庭 浩次、
村上 明、仲川 裕也、富山 仁、
神田 佐一、賀田 嘉明、田澤 重一、
佐藤 昌彦、坂田 一正、佐々木雄司、
遠藤 敏明、佐藤 金治、角張 孝義、
千田 茂

高橋支部長の挨拶後、同支部長を会則に則り議長に選出し議事に入った。

議長の氏名 高橋 茂

議事の要領及び議案別議決の結果

平成30年度会務報告 承認の件

平成30年度収支報告 //

令和1年度活動予定 //

令和1年度収支予算 //

議長、以上の議案 関連があるので一括上程し、
支部長自ら詳細に説明した後 議場に詰ったところ
全員異議なく賛成し原案通り可決した。

役員改選の件

高橋支部長より任期を全うしたので後進にバトンタッチしたい旨の説明があり、富山理事が推薦され満場一致にて承認された。また、両副支部長及び事務局は引き続き留任することも併せて承認された。

その他

両羽会・青岩会の活動報告、及び本校総会報告については懇親会にて報告を受ける旨、一同に了承された。

総会に引き続き、同場所に於いて懇親会が行われました。冒頭 佐藤副支部長の挨拶があり、田原口理事の乾杯の音頭で軽々しく懇親会がスタートした。

本校総会報告

この件に関して富山新支部長より

- ・北斗会総会に出席し「富山商船北斗会」から「富山高専北斗会」に正式名称が変更
- ・今後の北斗会の運営方法等、詳細な報告がありました。

・両羽会の活動報告

上記について両羽会富山事務局長より恒例になつた由良に於いての総会が14名の参加で盛大に行われた旨の報告がなされました。

その他

学生時代の記憶を辿ったり、現役時代の話に花が咲き時を忘れての嬉しい時間を過ごしました。

その後、参加者からの自己紹介を兼ねた近況報告があり、宴もたけなわになったころ田澤副支部長の中締めにて来年の再会を誓いおひらきとなりました。

令和2年度 活動予定

■ 令和1年10月19日

第8回東北支部総会 於 仙台「力寿司」

出席者16名にて開催済み

■ 令和2年5月

本校「北斗会」総会 出席予定

■ 令和2年8月

理事会・暑気払い 開催予定

■ 令和2年10月

第9回東北支部総会 開催予定

その他 理事会適宜開催予定

■ 両羽会活動予定

令和2年6月27日(土) 1泊にて総会・懇親会
場所：庄内地区由良町温泉民宿本間義一さんにて

■ 青岩会活動予定

令和2年6月13日(土) 総会・懇親会開催
場所：青森市内 詳細未決

■ 宮城・福島県人会予定

令和2年4月～6月 ゴルフリクリエーション実施
場所・詳細は未決

関西支部

関西支部の総会はコロナウイルスの終息状況を見ながら、4月25日開催予定を5月(予定)に延期いたしました。

関東支部

一般社団法人全日本船舶職員協会 創立90周年記念祝賀会のご案内

本協会は来年4月11日に創立90周年を迎えることになります。

本協会は昭和5年に全国商船学校十一会として創立され、昭和44年に社団法人 全日本船舶職員協会と改称し、平成24年に一般社団法人全日本船舶職員協会となって今日に至ります。

創立以来90年の長きに亘り会員の皆さま方のご支援により今日を迎えることができたものと心から感謝申し上げる次第です。

つきましては、ささやかではありますが創立90周年記念祝賀会を下記のとおり開催いたします。

開催日時 令和2年4月11日 (土)
12時~14時 (11時30分受付開始)

会 場 ホテルマリナーズコート東京 4階 白鳳
東京都中央区晴海4-7-28
電話 03-5560-2525

会 費 無料 ※ご祝儀を賜れば幸いです。



(交通案内・ホテルHPより引用)

東京駅丸の内南口バス停から有楽町～数寄屋橋～銀座四丁目（銀座線・丸の内線）～築地三丁目～勝どき駅（大江戸線）～ホテルマリナーズコート東京前

<東京駅丸の内南口バス時刻表>

(都05-1[都営バス]) 晴海ふ頭行 料金210円
東京駅丸の内南口発 ⇒ ホテルマリナーズコート東京前着

10:39	→	11:02
10:48	→	11:11
10:57	→	11:20
11:06	→	11:30
11:15	→	11:39
11:25	→	11:49

関東支部事務局長 故 平山俊夫氏(E34)を偲ぶ

令和元年10月25日関東支部理事兼事務局長の平山俊夫氏が急逝されました。わずか半年前の4月8日、新同窓会の検討のために急遽東京で開催された北斗会臨時支部長会議でお会いしたばかりでしたので、突然の訃報に言葉を失いました。

平山さんは関東支部の事務局長として北斗会の活動にご尽力されました。温和で私たち後輩にも気遣いされ、何事にもとても丁寧に対応して頂きました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(E35 水谷淳之介 記)

関東支部役員が賞雅校長を表敬訪問 2017年10月23日▶
(前列向かって左が故平山氏、後列中央が賞雅校長)



かたふり コーナー

富山新港に繫留している初代海王丸は、今も尚美しい姿で、見学に来られる多くの人に感動を与えている。海王丸は商船学校の練習船として、昭和5年に建造され、以来約1万2千人の船乗りをロマンの海に誘い、養成して來た。海國日本にとって何にも替え難い貴重な遺産である。

昨年(平成30年)日本船舶海洋工学会は、歴史的にも価値ある船として「ふね遺産」として認定された。私

想い出の海王丸

E14期 堀口 兵策

にとっても海王丸は、忘れ難いマザーシップである。

思えば昭和27年富山商船に入學の年30日間の乗船実習で本州一周の練習航海をした事が懐かしく、想い出が蘇ってくる。若き日に胸おどらせて乗った帆船海王丸が、数十年を経て、くしくも今身近に姿を見てくれる事が嬉しい。

晴れた日の総帆展帆を、又普通の日でも船内を廻ってみると、大海原を航海していた事が懐かしく思い出されてくる。同窓生皆さんにも機会があれば、是非訪船をおすすめ致します。

卒研作品を引き渡す

本校商船学科教員として着任後、ターピン・ボイラ実験室に隣接する同期である富樺克弘君と中長貴之君が卒研(穂木教官指導)として作製した単気筒エンジンモデルを発見した。36有余年を経て彼らの作品が大切に管理されて残っていることに驚きを持つとともに、在任中に何としても、彼らに作品を引き渡したいとの思いが募った。幸い、彼らにその旨を伝えることができた。そして時を置かずして、37年ぶりにその作品を製作者に引き渡すことができたのでお知らせしたい。

令和元年9月23日(祝)、台風17号の襲来をまともに受けた日であったが、彼らの熱意にも似たフェーン現象とともに彼らは来校した。引き渡しの儀式には同窓会関西支部を代表して岡崎賀津雄君が後見人として立ち会った。



後列左から岡崎君、筆者



作品引き渡し 左から富樺君、中長君

同期会

第3回両羽会開催報告

「今年も大振りな夏牡蠣3個・鮑の刺身・サザエの壺焼きと豪華でした」

去る令和元年6月29日(土)に、山形県庄内地区的鶴岡市由良町にある、本校卒業生(本間氏E36)がオーナーの温泉民宿本間義一さんにて、第3回両羽会を開催いたしました。美食家たちの両羽会は本民宿がお気に入り・・・

到着したらまずは温質最高の温泉に入り、体と精神を癒して火照った体と乾いた咽を冷たいビールで潤し、生き返る~を連発する昔の商船生たちでした。

開宴までの時間、イカスミに漬けた黒い裂きイカが絶品で、ビールが止まらず宴会前からお酒と会話のボルテージが上がりっぱなしでした。

先ずは集合写真とオーナー婦人様から撮って頂きました。



写真に向かって左より

上段：體原(N74) 本間(E36) 夏井(N67) 仲川(N63)

加藤(N65) 富山(E32) 近藤(N67) 白幡(NE1)

下段：中田(N63) 高橋(N63) 會田(N58) 田邊(N61)

館(N63) 佐藤充(N63)

N68 春田 三郎

富山商船高専航海学科を1978年9月に卒業後、海上勤務を経て1985年に日本海事検定協会に入会しました。同会では川崎支部で液体化学品の検査を6年間ほど経験した後に本部のLNG課に転勤となり、以降、還暦を機に退職した一昨年の夏まで液化ガス関連の業務に約25年間従事しました。この間にはISO(国際標準化機構)の作業部会の部会長として液化ガスの計量に関する国際規格の開発にも携わりました。これらの経験を基に「LNGの計量」というタイトルの本を著し、本年6月に成山堂書店から出版しました。

我が国がLNGの輸入を開始してから今年でちょうど50年になります。当初はアラスカより2隻のLNG船により輸送されていたLNGの輸入量はその後ほぼ右肩上がりに増加し、直近では年間8,285万トンとなっています。電力会社やガス会社が運営する受け入れ基地も各地に開設されました。身近なところでは、北陸電力がLNGを燃料にする火力発電所を富山新港に建設するのに伴い、かつて漕艇実習に通った臨海実習場が移転しています。

原油や石油製品が容積(バレル)や重量(トン)に基づいて売買されるのに対し、LNGは熱量に基づいて取り引きされます。単位はMMBTU(百万英国熱量単位)という日本人には耳慣れないものです。各船から揚荷されるLNGの計量は売主と買主の間で締結された売買契約にしたがってCTMSと呼ばれる計量装置により行われ、本船のタンク内にあるLNGの液位は1ミリメートル単位、液温度は0.01°C単位で測定されます。揚荷されたLNGの熱量を確定するためには、陸上のパイプラインから採取したサンプルの組成をガスクロマトグラフを用いて決定することも必要となります。測定や分析

の方法が細部に至るまで売買契約に定められているのもLNGの計量の特徴です。計量における0.1%の違いは価格にして数百万円に相当します。

駆け出しの頃より、日本各地において日々行われているLNGの計量について解説された本のないことが気になっておりました。日本海事検定協会を退職する前後に何人の方から執筆するよう勧められたこともあり、浅学を顧みず筆を執った次第です。同窓の皆さまの中でLNGの計量に関連する業務に携わっておられる方々のご参考になれば、これほど嬉しいことはありません。

出版に際しては日本船舶職員協会の土屋正徳専務理事(N59)及び富山高等専門学校の水谷淳之介副校長(E35)から厚いご支援をいただきました。伏見慎一さん(E38)と高野功さん(N77)の勤務先であるノースウェスト・シェルフ・シッピング・サービス・カンパニーのからは表紙に使用する写真を提供していただきました。他にも多くの同窓の方から温かい励ましのお言葉をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(本書は著者経由で注文すれば1割引となります。ご希望の方は春田までご連絡ください)

LNGの計量
E&Y INSTITUTE



略歴

1978年、富山商船高等専門学校航海学科卒業後、大阪商船三井船舶株式会社を経て、1985年、日本海事検定協会入会。2017年、同会を退職。同会在籍中に、ニューヨーク州立大学卒業、英國立エクセター大学修士課程修了。



中締め後、富山商船寮歌を総員起立し、NE1期の白幡氏の音頭で腕を振り上げながら熱唱しました。寮歌齊唱は両羽会では必須です。

寮歌熱唱後2次会会場に移動し、美味しい日本酒を飲みながら深夜まで語り続けました。来年も美味しい料理を目当てに参集する輩たちでした。



熱唱風景です。皆さん心は寮生活時代に戻っています。

宴席に入り、事務局から本部北斗会総会の報告として、北斗会の現状説明があり特に専攻科出身の方々は、富山商船の名前が消える事に感慨深い様子でした。また、酒田市出身のNE15期堀幸太氏の訃報と香典歳出報告があり、参加者全員で氏のご冥福を祈りました。

今回初参加のN67期近藤栄二氏から乾杯の音頭を発声して頂きました。乾杯用のお酒はバレンタイン30年物のスコッチで、今回乗船の為欠席となったN70期和田氏からの差し入れで、久し振りに飲む高級スコッチは最高でした。そんな訳で和気相合とお酒と歓談のボルテイジを超上げる、大昔の紅顔可憐な商船生たちでした。

今回の参加者は宿泊組11名・宴会のみ参加組3名の計14名で、みんなの距離が丁度良く話がみんなに届き、商船船乗りしか分からない昔話に花が咲き心地よさと楽しさが倍増した宴となりました。

今回のお膳を紹介します。大振りの夏牡蠣3個は絶品、サザエの壺焼き3個も良し、鮑の刺身と肝合えは超美味、鯛・本鯈と甘海老の刺身も最高、赤魚の煮付けは婆ちゃんの味で子供の頃を思い出しました。

学内トピックス

■校内カッターレース大会

7月11日(木)臨海実習場で校内カッターレース大会が開催されました。開会式で校長先生から「商船学科だけでなく、世界に羽ばたくという意識で臨むように」と激励の言葉を受け熱戦が繰り広げられました。男子艇、女子艇は貫禄を見せ5年生とともに1位でした。男女混合艇は上級生を抑え商船1年が優勝しました。特別賞は電子情報1年、国際ビジネス1年も獲得し1年生の大活躍が印象に残る大会でした。保護者艇は揃いのTシャツを着て練習の成果を発揮したレース内容でした。保護者艇の参加は大会の重要な1コマになっています。今後も運営に多大なご協力頂いた皆様に感謝し伝統を守って欲しい所存です。



レース結果

男子艇

- 1位 商船学科5年
2位 電子情報学科5年

女子艇

- 1位 国際ビジネス学科5年Aチーム
2位 国際ビジネス学科3年
3位 国際ビジネス学科1年

男女混合艇

- 1位 商船学科1年Aチーム
2位 電子情報工学科4年Aチーム
3位 電子情報工学科1年Aチーム

■全国商船高等専門学校漕艇大会

令和元年7月15日（海の日）本校臨海実習場特設コース（折り返し1500m直線）で実施されました。各校、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートのタイミングが見事であり、風浪、潮流を読んでのレース内容は練習の成果が表れています。本校は予選で善戦しましたが決勝進出は果たせず、決勝レースは3校で接戦となり見ごたえのあるレースになりました。以下に結果を記載します。来年度は広島

県で大会が開催される予定です。本校にご声援よろしくお願いします。

Aチーム結果

- 1位 大島商船A 9分7秒
2位 烏羽商船A 9分8秒
3位 広島商船A 9分11秒



北斗会HPについて



新ホームページURL : <https://www.toyama-hokutokai.net/>

以前のホームページとは異なり、**ID登録は不要**で全ページが閲覧可能です！

(ID登録廃止に伴い、マイページ機能や掲示板機能は廃止となります)

会報のバックナンバーも順次掲載中です。

スマートフォンからもアクセスしやすくなりました！
気軽にアクセスください！



↑QRコードはこちら！

HPへの
広告バナー掲載も
募集中です！

バナー広告の募集要項

1. 広告主対象

広告主は団体生に限ります。

2. 申込の流れ

- (1)広告主はバナー広告申込用紙に必要事項を記入し、HP連絡メールアドレスinfo@toyama-shosen.comまで、申込用紙を添付、送信してください。郵送での受け付はしておりません。
- (2)HP担当者から申し込み時に使用されたメールに受理のメールを送信いたします。また、バナーの画像について、広告主にメールでご確認させて頂きます。
- (3)バナーの画像決定後、お振込み依頼のメールを送信します。広告主はお振込みをお願いいたします。
- (4)お振込みが確認できましたら、バナーを掲載いたします。また、領収書と掲載決定通知を郵送で申し込み用紙に記載されたご住所まで送付いたします。

3. 掲載期間

最低1年より掲載可能です。契約時に複数年の契約が可能です。ただし、バナー画像の変更は1年毎となります。既込み確認後、広告主への掲載決定通知にて掲載期間をお知らせいたします。掲載決定通知のご連絡に時間がかかる場合がありますが、ご了承ください。

4. 掲載期間の継続

掲載終了日の1ヶ月前に継続掲載のお問い合わせメールを送信いたします。前項にはメールでの意思確認と既込みにて延長を決定いたします。掲載終了日までに継続希望の連絡や既込みが確認できない場合は掲載を終了します。

5. 掲載中断の希望

HP連絡アドレスもしくはHP問い合わせフォームにてご連絡ください。掲載期間が1年以上残っている場合でも既込み金額は返金致しかねます。ご了承ください。

6. 掲載できない広告

以下に該当する広告については、掲載をお断りします。

1. 北斗会ホームページの公益性又は品位を損なうおそれがあるもの
2. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条に掲げる営業に関するもの
3. 政治活動、宗教活動、個人の宣伝に関するもの
4. 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるもの
5. その他掲載する広告として妥当でないと判断会事務局が認めるもの

7. 金額設定

リンクの有無に関わらず以下の金額です。表示位置の指定はできません。(各サイズ表示数の上限を設ける場合があります。) 各サイズの表示数の上限数に至った場合はご了承ください。

小バナー 年額10,000円 中バナー 年額20,000円

大バナー 年額30,000円

8. バナー画像の規格

バナーの画像は広告主がご用意ください。ご用意頂くファイルの規格は以下のとおりです。また、規格は運用上、多少変更する場合がございます。ご了承ください。ファイル容量はいずれも300kByteまでです。

小バナー 大きさ 縦50ピクセル×横157ピクセル

中バナー 大きさ 縦80ピクセル×横240ピクセル

大バナー 大きさ 縦140ピクセル×横490ピクセル

※データ形式 GIF(アニメ可、透過GIF不可), JPEG, PNG

2020年度

お知らせ 総会・懇親会の

日時

令和2年6月6日(土)
14:00~16:00 理事会
16:00~17:00 総会
17:00~19:00 懇親会

場所

富山電気ビルレストラン
[〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号]
TEL:076-432-4111

料金会員一員

5,000円(女性3,000円)
新会員(新卒者)無料

*準備の都合上、出席の有無は5月10日までに
同封のはがきでお知らせください。

！不審なる業者からの連絡にご注意ください

「富山商船高等専門学校」と記した同窓会名簿の発行案内のハガキが届いた、という連絡がありました。同窓会では個人情報を配布することはございません。このような悪質な業者からの問い合わせには応じないよう、ご注意ください。



同窓会事務局へご連絡ください。

同期会の開催などの同窓生近況を事務局へご連絡ください。また、お住まいの地域にて、どの同窓会支部へ連絡したら良いか、支部総会に参加したいが連絡をどこへしたら良いか、など支部や支部活動に関するご相談もお気軽にお問い合わせください。

連絡先

〒933-0293

富山県射水市海老江練合1の2 富山高等専門学校内
北斗会（富山商船同窓会）事務局

Ⅰ 富山高専技術振興会のご案内（本校を応援する企業のネットワーク）

富山高専では、富山県内のみならず全国の企業から構成される富山高等専門学校技術振興会の支援を受けて種々の事業を展開しております。

技術振興会は、「地域が富山高専を育て、富山高専が地域社会に貢献する」という産学官三位一体となった双方向の結びつきを強固にすることを目指した組織であり、学生向けのキャリアデザイン講座、企業研究会、共同研究に対する支援などを進めています。また会員企業間のネットワーク化も進めていきたいと考えていますので、卒業生各位におかれましても、本振興会の取り組みに是非ともご支援・ご協力をいただきますよう、御願いいたします。

会員企業のリスト等については、技術振興会のWebページをご覧ください。

<https://www.nc-toyama.ac.jp/tech/>

(富山高専 ソリューションセンター長 袋布昌幹 記)

編集後記

今年度、学校では本郷キャンパスの1年生が混合学級・混合授業になり、統合以来大きな改革が行われました。来年度からは射水キャンパスでも実施されます。混合学級の導入で他学科の人と関わり人間関係を広め、視野も広がると思います。学生にはこの制度を前向きに捉え多いに活用してもらいたいです。来年度の改革としてもう1つ紹介しますと、電子情報工学科において1996年から学生が可搬型パソコンを使用し授業、実習を実施してきました。来年度の新入生から全学科に展開し普段の授業や連絡に活用されます。教育の高度化に対応し時代に

あった改革を進めておられる校長先生はじめ教職員の皆さまには高専出身の私としては頭が下がりっぱなしの日々を過ごしております。同窓会も今後大きな改革が実施されていきますが、本校に勤める身として少しでも貢献できればと考えております。

また今回も会報を取り纏める際に、同窓生から多くの寄稿を頂きました。感謝申し上げます。支部会や同期会など、会員の皆様が活動されたことがありましたら、引き続き同窓会事務局まで情報を寄せ下さい。今年の5月23、24日には北斗祭が実施されます。皆様に足を運んで頂ければ幸いです。

NE12 池野 一成